

Welcome Dinner



Bavarian Evening



Boat Trip on the Neckar River



Wine & Dine (Speyer Museum of Technology)



Heidelberg Castle Tour + Farewell Ceremony & Dinner



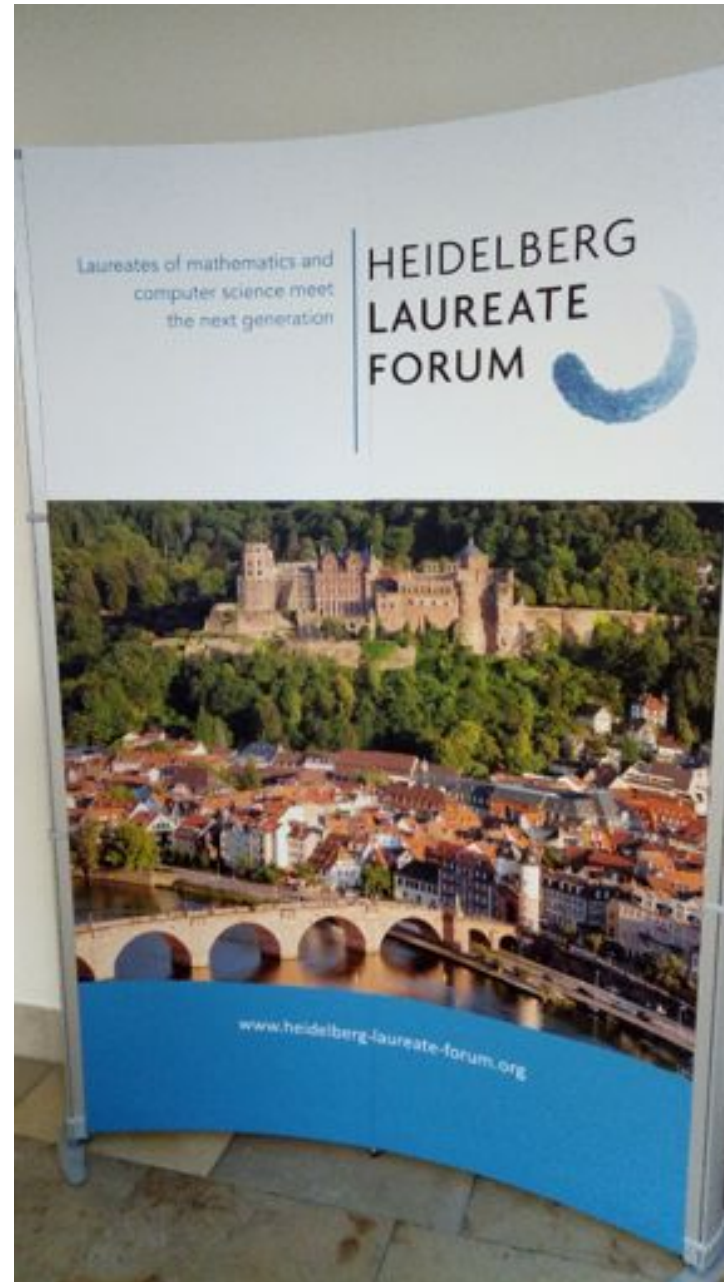
Heidelberg Castle Tour + Farewell Ceremony & Dinner



Heidelberg Castle Tour + Farewell Ceremony & Dinner



その他



その他



その他



その他



その他



感想

- 会議自体は興味深い内容でイベントも楽しい
 - Laureateとの交流が（強制的に）持て、話は面白いものが多い
 - 毎日パーティー（ボートトリップでの無限ビールに注意）
- 参加者の国籍は様々
 - むしろそうなるように選んでいると言っていた
 - 大学/企業の所在地は圧倒的にアメリカが多い
 - 日本人は自分と森先生だけ（日本の大学からはOISTからも1人参加）
- 企業の若い人がpostdoc枠で参加している
 - Ph.D.取得後2,3年であればPostdoc相当とみなしてもらえる模様
 - Google, MSR, IBM Research
- 人工知能/機械学習はもはや教養
 - CS分野からの参加者でBioにMLと書いていない人は少ないし、数学の人もconvex optimization等のMLに繋がりそうな分野の人が多め
 - MLをある程度理解していないと技術的な会話に入っていくのが難しい

感想

- 言語の壁
 - 日本語と同じレベルで英語が使える必要あり
 - 大半の日本人は苦しみそう
 - 参加を躊躇する理由としてよく聞く
- 海外のPh.D./Postdocとのレベル差はかなり大きい
 - Dakshita Khurana@UCLA
 - CRYPTO, EC*2, AC*3, TCC*2, ICALP, FOCS
 - Henry Corrigan-Gibbs@Stanford
 - CCS*2, S&P(BestPaper), UsenixSec, UsenixNSDI, AC*2, CHI
 - Soteris Demetriou@Illinois
 - CCS*2, NDSS*3, DSN
 - 日本人ゼロにはならないと思うが...
 - ポジティブに捉えれば「日本人にとってチャンス」だが、
言い換えれば「日本人じゃなかったら選考レースに勝てていない」